

令和2年度 蓬田村共同研究 実施報告書

弘前大学農学生命科学部
国際園芸農学科 教授 前田智雄

○はじめに

蓬田村では、堆肥を活用した6次産業化がメインの仕事になる予定であったが、諸般の事情により6次化には時間を要するため、その手前のタマネギ生産安定化をメインの仕事とした。

○弘前大学における実験

播種日:2/14(448 穴トレー)

定植日:4/24、弘前大学千年圃場

栽植密度:22,222 株/10a

春まき試験の概要:

供試品種の中で、最も早いオーロラにおいて倒伏日は7/2、最も遅いものはさらさらゴールド、さらさらレッドの8/1であった。規格内収量で目標となる反当4tを超えたのは7/6倒伏のみみじ3号にマルチを敷いた区から後となった(もみじ3号、ケルたま、さらさらゴールドを除く)。収穫期がトタナよりも後のものは降雨のため腐敗率がやや高くなった。収量がもともと多かったものはトタナで、6t/10aを超えた。

気象条件から、弘前よりも倒伏が遅れる蓬田村を想定すると、これまでの傾向からオーロラやもみじ3号でも恐らく早すぎるということはないであろう。また、マルチは収量を増加させるが、収穫が早まる効果は数日である。導入するかどうかは手間を考える必要がある。

令和2年 春播き収量調査

品種	倒伏日	収穫日	平均りん茎重 (g)	規格内収量 (kg)	腐敗率 (%)
オーロラ	7/2	7/9	159.8	3342.2	0.0
東京レッド	7/4	7/11	125.7	2132.9	0.0
もみじ3号 (マルチ)	7/6	7/13	211.4	4567.1	0.0
もみじ3号	7/8	7/15	155.7	3253.2	0.0
マルソー (マルチ)	7/9	7/16	232.0	5123.7	0.0
マルソー	7/11	7/18	196.7	4248.8	0.0
ケルたま	7/12	7/19	168.3	3683.1	0.0
ガイア	7/14	7/21	198.8	4356.1	1.4
ポールスター	7/17	7/24	233.1	4820.2	4.2
TC-27-22	7/17	7/24	247.5	5289.6	0.0
トタナ	7/18	7/25	299.1	6630.7	2.8
レッドラベル	7/18	7/25	238.9	5309.1	2.8
仙-6	7/23	7/30	227.3	4936.5	5.6
クエルゴールド	7/23	7/30	209.0	4534.4	1.4
オホーツク222	7/25	8/1	261.0	5638.4	9.7
北もみじ2000	7/27	8/3	246.0	5467.1	12.5
ホワイトウイング	7/27	8/3	322.8	6277.3	6.9
さらさらゴールド	8/1	8/8	178.2	2341.4	5.6
さらさらレッド	8/1	8/8	228.7	5012.4	1.4

○蓬田村における活動

令和2年度は栽培中に2回現地を訪れた(令和2年7月5日、8月1日、川崎憲次郎氏圃場)。7月に訪れたときは順調であったが、8/1に訪れたときは病害に一面やられており、地上部が枯れてしまっていた。肥大はやや進んでいたものの十分に大きくはなっておらず、減収となった。しかし、あと少しである。



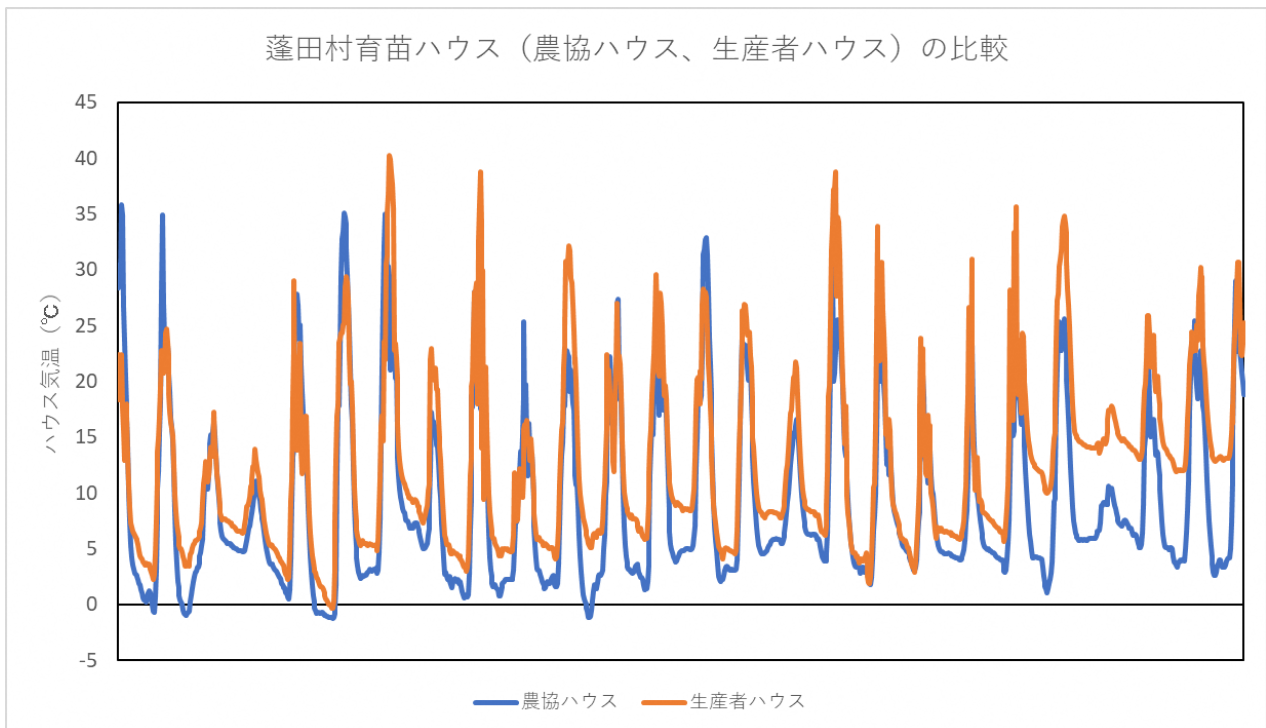
7/5の川崎氏圃場、生育は順調であった。葉色も防除も文句のつけようがない



8/1の川崎氏圃場、べと病にやられて茎葉が枯れていた。大雨によって圃場に入れず防除が遅れたらしい

蓬田村の収量が今ひとつ上がらない要因に育苗の不安定さと植え付け遅れがある。このため、令和 2 年度の共同研究の予算でデータロガー(おんどり)を購入し、来年度の育苗ハウスに取り付けてもらった。令和 3 年 3 月 24 日に訪問し、途中経過を確認するとともに、令和 2 年度の秋まき圃場の様子なども見させてもらった。

農協のハウスと生産者のハウスの温度データは下のグラフの通りである。30 分ごとに測定した気温の平均値(普通の平均値、すなわち 1 日の最高気温と最低気温の平均値)とは異なる)は、農協ハウスが 9.2℃に比較して、生産者のハウスは 12.6℃と、3℃ほど高かった。グラフを見ると、最低気温の方に差が見られているのがわかる。この要因は、生産者のハウスには「トンネル」があることであった。



農協のハウス。2重被覆だが、トンネルがきちんと設置されていない。トンネルを足すと3重になるので、ぜひ導入してもらいたい



生産者のハウス。トンネルを厚めの素材で行う等の工夫をすれば、もう少し大きくなるか

秋まき圃場の様子

秋まきの圃場を3カ所見て回ったが、小さい苗を植えたために枯死株が多い印象だった。8/10 播種、10/10 定植を守ってほしい。この後は追肥、除草等の管理だが、収量はあまり上がらないであろう。



以上